



令和2年 5月の園だより

みみょう保育園



【人とつながるってうれしいね】

陽ざしが暖かく、風が心地よい季節になりました。しかし、新型コロナウイルスの感染が全国に拡大し、現在は、6日まで外出自粛要請がでており、外出を控えなければいけない状況です。保護者の皆さまには、登園自粛のご協力をいただきありがとうございます。これから先のことがはっきりと分からず、また新学期が始まって間もないという事もあり、不安なこともたくさんおありだと思います。これ以上の感染拡大をしないよう、そしていつもの生活に少しでも早く戻れるように、手洗い、マスクの着用、3密の場所を避ける、十分な栄養と睡眠をとるなど、一人ひとりが今できる事を行い予防していただきたいと思います。天気の良い日には、密集、密接を避けお散歩をして、かわいいお花や虫探しをしたりして、小さな春みつけをしてみるのもいいですね。新しい発見があるかもしれません。そして、状況はどのように変わるか分かりませんが、連休明けに元気にみんな揃って会えることを楽しみにしています。ただ、園生活の中で、子どもたちが安心して楽しく過ごすためには、濃厚接触は避けられません。私たちは、お部屋やおもちゃの消毒、換気、自身の体調管理に努め、しっかりと予防策をとって、緊張感を持ちながらも、子どもたちと楽しいことをたくさん見つけて遊んでいきたいと思っています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

濃厚接触は^いなませんが、保育園は集団の中で、様々な人と出会い関わり、たくさんのことを経験しながら育つ場所です。入園して2週間が経った頃のこと、0歳児のYくん自身も涙がでていたのですが、そこへTくんが登園してくると、まるで「おはよう」と挨拶をしているように顔を覗き込んで微笑みかけ、泣いているTくんの頭を「よしよし」と撫でてあげるようなしぐさをしていました。まだまだ自分のことで精一杯なのに、赤ちゃんであっても周りのいろいろなことを見て感じて、相手に興味をもって関わろうとしていました。そしてTくんのこともちゃんと仲間だと認識しているのです。

また、2歳児のKくんは、登園自粛が始まり、お友だちが少ないと、「Yくんいないね」「Oちゃんいないね」と寂しそうで、ちょっぴり元気がありません。おもちゃも取り合いをすることなく使って遊べるのに、何だかつまらなそうなのです。このくらいの年齢になると、喧嘩をしながらも友だちと一緒に楽しいのですね。

乳児期にしっかりと愛され相手をしてもらい、大人への信頼感が育まれると、人を好きになり自分から人に関わろうとする子になります。1歳半を過ぎる頃から少しずつ自我が芽生え、友だちと玩具や場所の取り合いをするなどトラブルになり、泣いたり怒ったりして、自分の思いを通そうとします。思い通りにならないこともあるでしょう。それでも友だちと一緒に遊びたくて、友だちと一緒にいるのが楽しいのです。もちろんこの時、どうしたらいいのかを一緒に考えてあげる大人の仲立ちと見守りも必要です。楽しいことだけでなく、マイナスの経験も大切です。いろいろな経験を通して、相手の気持ちに気づいたり、相手と上手くやりとりして遊ぶ方法を少しずつ知っていくのです。このような乳児期の経験が、幼児になってから、友だちと力を合わせたり、気持ちに折り合いをつけたりして遊ぶコミュニケーション能力につながっていきます。

昨今、少子化、核家族化がすすみ、人との関わりが希薄になってきていると言われますが、今回のように人との接触を避けなければいけないという事態になると、人とつながり関わることの大切さを改めて考えさせられます。私たちは将来、子どもたちが、どのような状況においても、人とつながり、助け合って生きていけるよう、人と関わっていく力の基盤をしっかりと育てていきたいと思っています。

園長

